

わが国における急性心不全患者の臨床像と予後の特徴に関する国際間比較研究

現在、国立循環器病研究センターでは、以前に「急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価のための院内レジストリデータベースの構築とデータ活用に関する研究」及び「急性心不全患者を対象とした登録研究」のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記研究課題を新たに下記の共同研究機関と協力して実施しています。

この新たな共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄のセンター問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この新たな共同研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じくセンターでの研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までその旨をご連絡下さい。

共同研究課題名

わが国における急性心不全患者の臨床像と予後の特徴に関する国際間比較研究

共同研究の代表責任機関及び研究代表者

代表責任機関・研究代表者：心臓血管内科 本田怜史

本研究に関する問い合わせ先：心臓血管内科 本田怜史

電話：06-6170-1070（代表）

研究対象者

平成 22 年に開始された「急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価のための院内レジストリデータベースの構築とデータ活用に関する研究」及び平成 26 年に開始された「急性心不全患者を対象とした登録研究」（研究責任診療科：心臓血管内科部門心不全科、研究責任者：安齊俊久部長）への協力にご同意いただいている方（うち、急性心不全の診断を受けた方）

利用・提供する診療情報等の項目

- 患者背景情報：年齢、性別、身長、体重、基礎心疾患、既往・併存疾患、家族歴、嗜好、内服
- 入院時・退院時情報：入院日、退院日、バイタルサイン、症状、重症度、血液検査、尿検査、心電図、超音波検査、X 線検査、CT/MRI 検査、カテーテル検査
- 入院中治療情報：用いられた薬物・非薬物治療の種類・量・順序、入院中の心血管イベント・合併症
- 予後転帰情報：死亡・死因、心不全再入院とその日付 等

利用の目的（遺伝子解析研究： 無）

心不全診療の実態と予後に関する国際比較を通じて、我が国の心不全診療の質向上に導くことを目的としています。

主な共同研究機関及び研究責任者（営利企業との共同： 無）

上記の診療情報等を、下記の共同研究機関(研究責任者)に対して提供・共有し研究を行います。

〔主な提供方法〕 電子的配信

1. 米国オハイオ州 Case Western Reserve University (Varun Sundaram, Jayakumar Sahadevan)
2. 米国ミネソタ州 Mayo Clinic (Yogesh Reddy)
3. 英国ロンドン Imperial College London, Royal Brompton Hospital (John Cleland)
4. 英国ヨーク Hull York Medical School (John Cleland)
5. 英国ロンドン King's College Hospital (Theresa McDonagh)
6. 英国ロンドン Willington Hospital (Suzanna Hardman)
7. 星国シンガポール Duke-National University of Singapore Medical School (Carolyn Lam)

利用期間

倫理委員会承認日より 2022 年 12 月 31 日までの間（予定）

この研究での診療情報等の取扱い

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所など個人が特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。研究結果は個人が特定できない形で学会等で発表されます。患者様はご自身の情報を他の研究機関へ提供することの停止を求めることも可能ですので、その際には下記へご連絡ください。ただし、既に解析が終了した後など、研究データにおいて特定の個人が特定できなくなり情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。その他、ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

国立循環器病研究センターにおける研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者

研究責任者：心臓血管内科 本田怜史

研究内容の問い合わせ担当者：心臓血管内科 本田怜史

電話：06-6170-1070(代表)